

# 産科医療

経過と今までの主な取り組み

秩父市では現在も、産科医療の維持・充実に向けた取り組みを続けておりますが、全国的な産科医師・産科医療スタッフ不足により、秩父地域でも産科医療が大変厳しい状況であります。

現在、妊産婦を受け入れている産婦人科診療所をはじめ、秩父郡市医師会や埼玉医科大学関連病院、近郊の産科医療機関等のご協力・ご支援により維持できている状況です。

また、市民の皆さまから親戚や知人等の産科医師情報を提供いただき、関係者と会談できましたこと、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。引き続き、情報の提供等よろしくお願いいたします。

秩父地域の産科医療や救急医療等、大変厳しい状況ではありますが、市民の皆さまのご協力をいただき、これからも「あきらめず粘り強く」取り組んでまいります。



地域医療対策課  
22 1 2 2 7 9

とき	状 況
平成24年2月	秩父郡市内の産婦人科診療所が3診療所から2診療所になる。
平成24年8月	秩父郡市5首長、秩父郡市医師会長、秩父産婦人科医会長、市内2産婦人科診療所長、郡市内2公立病院長の連名で「秩父地域の産科医療確保に係わる要望書」を埼玉県知事に提出。
平成24年10月	埼玉医科大学病院から市内産婦人科A診療所に月2回、当直日勤の産科医師派遣を開始。
平成24年12月	秩父近郊の深谷・熊谷・本庄・小川・飯能など18産科医療機関に対し、秩父郡市5首長連名で『秩父地域の妊産婦受入のお願い』文書と地域医療対策課名で『緊急時における救急車利用』の周知依頼文書を送付。
平成25年1月	秩父郡市内の産婦人科診療所が2診療所から1診療所になる。埼玉医科大学総合医療センターから市内産婦人科A診療所に週1回、当直日勤の産科医師派遣を開始。
平成25年4月	埼玉医科大学病院から週1回、埼玉医科大学総合医療センターから週2回、市内産婦人科A診療所への当直日勤の産科医師派遣を強化。
平成25年7月	市内産婦人科A診療所が12床から15床に増床し、妊産婦受入の充実を図る。
平成24年4月～平成25年3月	久喜市長が、埼玉医科大学理事長、山王病院院長、日本医科大学産婦人科主任教授とそれぞれ会談。
平成25年4月～平成26年3月	久喜市長が愛育病院副院長兼産婦人科部長、都立墨東病院産婦人科医長、自治医科大学附属さいたま医療センターセンター長・同周産期母子医療センター長、埼玉医科大学理事長とそれぞれ会談。
平成26年4月～現在	久喜市長が埼玉医科大学名誉理事長と会談。

二重剣道部が  
関東・全国大会へ



埼玉県学校総合体育大会兼全国・関東大会予選会に出場した新井玲也くん(2年)が男子

個人の部で見事優勝！関東大会では1回戦敗退、高知県で行われた全国大会では3回戦で惜しくも敗れてしまいましたが、持てる力を十分に発揮しました。また、9月には大阪市で開催された、第9回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(団体戦)に、県代表の一人として出場しました。

吉田柔道愛好会が  
県大会で優勝！



第36回埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会兼県民総体スポーツ少年団の部に出場した吉田柔道愛好会が、団体男子で優勝、総合で3位となりました。

りました。学年別の個人では、富山湊くん(小1)、河村怜音くん(小2)が優勝。小島夢大くん(小3)、宮原悠衣さん(中2)が2位。清水侑汰くん(小1)、赤岩未悠さん(中2)が3位となりました。

防災行政無線放送の内容を電話で確認できます。放送が聞きづらい場合はお問い合わせください。

防災無線ダイヤル カクニンくん☎26-1134 (通話料金がかかります。)